

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

1999年北朝鮮のGDP推定と産業別動向

韓国の中央銀行である「韓国銀行」が6月20日に北朝鮮の1999年GDPを推定したデータを発表した。これに基づいて1990年代北朝鮮の経済動向をまとめて分析することとする。

概況

1999年に北朝鮮は1990年代に入り初めてのプラス成長である前年比6.2%の経済成長をし、名目GDPが158億ドルになったと推定された。一人当たり国民所得は714ドルである。1998年までマイナス成長の結果、実質GDP基準の経済規模が98年に1990年の70%水準まで落ちたが99年には74%水準まで回復したことになる。その要因は穀物生産の増加、国際社会の支援拡大、石炭・電力生産の増加による産業稼働率の増加、住宅・発電所建設などの増加であったと見られる。経済の停滞を脱したと言えるにはまだ確実な根拠がないが、北朝鮮経済は回復に向けて動き始まったと思われる。しかし、エネルギー不足問題はまだ深刻であり、これが産業生産の着実な回復にネックとなっている。

産業別動向

農業部門で穀物生産量は1980年代の500万トンを超える水準から1990年代には最低345万トン（95年）まで陥ったが99年に422万トンまで回復した。しかし、この生産量も穀物の「適正需要量」に対しては約180万トン、「最低需要量」に対しては約80万トン程度の不足となっている¹。北朝鮮政府は穀物増産政策として単作・密植栽培の再検討、ジャガイモ栽培拡大、種子改良、二毛作の推進、土地整理事業の推進などに力を入れている。北朝鮮の農業生産が正常化するためには灌漑施設の整備、肥料増産などが必要であろう。国際社会の食糧支援（韓国からの支援を含む）は95年から99年まで総計14.4億ドル（トウモロコシ換算673万トン）となっているが、当分の間は食糧支援が必要だろう。

エネルギー部門で石炭生産量は91年の3,110万トンから98年に1,860万トンまで急落したが、99年に2,100万トンまで回復

した（前年比14.0%増）。しかし、91年水準にはまだ1,000万トンが不足している厳しい状態である。全量輸入に依存している原油の輸入量は88年の約300万トンから98年に61万トン、さらに99年には32万トン（KEDOの重油支援量50万トン除外）まで急減した。このため道路運輸は燃料不足で極めて深刻な状態が続いている²。電力生産は90年の277億kWhから98年に170億kWhまで急落したが、99年に186億kWhに若干回復した（前年比9.4%増）。しかし、発電稼働率は設備容量（739万kW）の28%に過ぎず、この発電量では鉄道輸送（電化率75%）や産業用電力需要に、まだ大幅に不足している。従って、北朝鮮経済回復の糸口はエネルギーの安定的で十分な供給であろう。北朝鮮政府は2000年度の国家予算の内、石炭と電力部門の予算を各々前年比12.3%、15.4%増やしたが、これだけでは不十分でありエネルギー部門で韓国との経済協力が非常に重要な課題となっている。

製造業部門は99年にエネルギー及び原資材の供給が増加したことにより重工業が前年比11.6%、軽工業が同2.4%成長した。しかし、90年の製造業水準を100とすると重工業が45、軽工業が74に過ぎない状態であり、産業構造の面でも製造業が91年にGDPの30.0%を占めたのに対し99年には18.3%まで縮小している。

建設部門は99年に住宅や発電所などの建設が活発になり前年比24.3%の成長を示した。この部門は産業ウェイトが大きくはない（99年GDP構成比6.1%）が、これから北朝鮮経済の牽引車としての役割を果たすことになるだろう。

サービス部門では社会主義経済の特徴どおりに政府サービスのウェイトが大きい（99年GDP構成比22.8%）が、98年以降マイナス成長となっている（99年4.5%減）。反面、民間サービス部門（99年GDP構成比9.6%）は99年に前年比3.9%成長となり、これから産業ウェイトが大きくなるが注目される。

（ERINA調査研究部客員研究員 李燦雨）

¹ 「適正需要量」とは1日1人当たりの食糧要求量を550gとし、その他飼料、産業用穀物、種子などを加えた需要量（北朝鮮食糧配給基準）である。

「最低需要量」とは1日1人当たりの食糧要求量を458gとし、その他飼料、産業用穀物、種子などを加えた需要量（FAO/WFP基準）である。ちなみに、北朝鮮総人口の1日食糧最低需要量は約1万トンになっている。出所：韓国農村経済研究院の推計

² 北朝鮮は一次エネルギー供給で石油への依存率が低く（88年に最高8.4%）、化学産業でも原料として石炭が中心となっている。

北朝鮮の経済指標

No.	区 分	単位	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999		
1	総人口	千人	20,495	20,798	21,123	21,353	21,543	21,684	21,810	21,942	22,082		
2	GDP(名目)	億ドル	229	211	205	212	223	214	177	126	158		
3	1人当たり国民所得	ドル	1,115	1,013	969	992	1,034	989	811	573	714		
4	実質GDP成長率	%	5.2	7.6	4.3	1.7	4.5	3.7	6.8	1.1	6.2		
5	名目GDPの産業部門別構成	農林水産業	構成比	28.0	28.5	27.9	29.5	27.6	29.0	28.9	29.6	31.4	
			成長率	2.8	2.7	7.6	2.7	10.5	1.0	3.9	4.2	9.2	
		鉱工業計		38.0	33.8	32.9	31.4	30.5	28.0	25.5	25.6	25.6	
		鉱業	構成比	7.9	9.2	8.2	7.8	8.0	7.1	6.7	6.6	7.3	
			成長率	6.8	6.1	7.2	5.5	2.3	11.8	11.8	6.6	14.1	
		製造業	構成比	30.0	24.6	24.7	23.6	22.5	20.9	18.8	19.0	18.3	
			成長率	13.4	17.8	1.9	3.8	5.3	8.9	16.8	3.3	8.5	
		SOC及びサービス計		34.1	37.7	39.2	39.0	41.9	43.0	45.6	44.9	43.0	
		電気・ガス・水道	構成比	5.0	5.1	4.8	4.8	4.8	4.3	4.3	4.2	4.5	
			成長率	4.5	5.7	8.7	4.2	0.1	7.8	9.6	9.3	6.8	
		建設	構成比	8.2	9.1	8.5	6.3	6.7	6.4	6.3	5.1	6.1	
			成長率	3.4	2.1	9.7	26.9	3.2	11.8	9.9	11.4	24.3	
		サービス	構成比	20.9	23.5	25.9	27.9	30.3	32.3	35.0	35.6	32.4	
			成長率	2.5	0.8	1.2	2.2	1.5	0.8	1.1	0.7	1.9	
		(製造業内訳)	軽工業	構成比	8.0	6.3	6.8	7.0	6.8	6.9	6.5	6.4	6.1
			成長率	4.4	7.3	5.0	0.1	4.0	7.1	12.0	1.1	2.4	
			重工業	構成比	22.0	18.3	17.9	16.6	15.7	14.0	12.3	12.6	12.2
	成長率	15.8	21.0	4.2	5.2	5.9	9.7	18.7	4.3	11.6			
(サービス内訳)	政府	構成比	13.0	15.0	16.8	18.6	20.7	22.5	25.1	25.3	22.8		
	成長率	4.4	2.4	2.3	3.3	2.8	1.7	2.2	0.3	4.5			
	その他	構成比	7.9	8.6	9.0	9.3	9.6	9.7	9.9	10.3	9.6		
	成長率	0.3	1.7	0.5	0.4	0.7	0.7	1.0	1.4	3.9			
6	国家予算 (注1)(注2)	歳入	億ドル	173.0	175.0	185.3	192.7	118.5	94.9	91.3	90.0	91.2	
		歳出		171.7	173.9	183.8	191.9	118.0	96.3	91.3	91.0	92.2	
7	石炭生産	千トン	31,100	29,200	27,100	25,400	23,700	21,000	20,600	18,600	21,000		
8	原油	総輸入	万トン	189	152	136	91	110	94	51	61	32	
		発電能力	万kW	714	714	714	724	724	739	739	739	739	
9	電力	発電量	億kWh	263	247	221	231	230	213	193	170	186	
		生産量	千トン	4,427	4,268	3,884	4,125	3,450	3,690	3,489	3,886	4,222	
10	穀物	輸入量(注3)		1,290	830	1,093	490	962	1,050	1,630	1,120	1,070	
		対米為替レート	ウソ/ドル	2.15	2.26	2.19	2.16	2.05	2.14	2.16	2.20	2.17	
12	貿易 (注4)	輸出(A)	億ドル	11.2	11.9	12.0	10.2	9.6	9.1	11.0	6.5	6.4	
		輸入(B)		17.1	16.4	16.3	12.9	13.8	13.2	13.9	10.1	11.8	
		貿易総額(A+B)		28.3	28.3	28.3	23.0	23.4	22.3	24.8	16.6	18.1	
		貿易収支(A-B)		6.0	4.5	4.3	2.7	4.2	4.1	2.9	3.6	5.4	
		貿易/GDP	%	12.4	13.4	13.8	10.9	10.5	10.4	14.0	13.2	11.5	
	(主要国別)	中国	輸出	百万ドル	86	156	297	199	64	69	122	57	42
			輸入		525	541	602	425	486	497	535	356	329
			貿易総額		611	697	900	624	550	566	656	413	370
			貿易収支		439	386	305	225	423	428	413	298	287
		ロシア	輸出		171	65	40	40	16	29	17	8	2
			輸入		194	227	188	100	68	36	67	57	49
			貿易総額		365	292	227	140	83	65	84	65	50
			貿易収支		23	162	148	60	52	7	50	48	47
		日本	輸出		284	257	252	323	340	291	310	219	203
			輸入		224	223	220	171	255	227	179	175	148
			貿易総額		508	480	472	494	595	518	489	395	350
			貿易収支		60	34	33	152	85	64	132	44	55
韓国	輸出		106	163	178	176	223	182	193	92	122		
	輸入		6	11	8	18	64	70	115	130	212		
	貿易総額		111	174	187	195	287	252	308	222	333		
	貿易収支		100	152	170	158	159	113	78	37	90		
13	累積対外債務	金額	億ドル	93	97	103	107	118	120	119	123		

(出所)

- 1 韓国銀行、「北朝鮮のGDP推定結果」各年度
- 2 朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議、「予決算報告書」、各年度
- 3 大韓貿易投資振興公社(KOTRA)、「北朝鮮の対外貿易動向」
- 4 韓国統一部、「南北交流協力動向」

(注)

- 1 1994年の部門別歳出は予算ベース(構成比も同様)。
- 2 1995-96年の国家予算額は北朝鮮政府がIMFに提出したものである。
- 3 各国および国際機関からの穀物支援を含んだ量である。
- 4 KOTRA推計による北朝鮮の対世界貿易額には韓国向けが含まれていないため、北朝鮮・韓国間の交易金額をERINAにて加算。